

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市東四郎丸児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》	・令和3年度 9,394人（前年度比 101.0%） ・令和2年度 9,305人 ・令和元年度 13,353人
	《事業》	・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》	()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 28,672千円 (30,206千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》	・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、にこにこ児童館応援隊、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援及び家庭支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	20/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人 FOR YOUにこにこの家）による自己評価》
<p>「子どもの未来を応援する児童館」「手をつなぐ児童館」として児童の健全育成に努めることを理念とし、地域・学校・福祉施設と共に事業に取り組んできた。令和3年度も仙台市ガイドラインに従ってコロナ対策を講じ、実施可能な活動に取り組んだ。週3回のレクや行事は密集を避け、個別の運動や創作活動を中心に体力の向上や創造力の育成を図ってきた。さらに子どもたちの可能性と自己肯定感を育てるために、できたことを記録証や賞状に記載して渡したり、互いに認め合う場を作ってきた。12月には保護者や児童館を支援してくださる地域の方々や校長先生、仙台市生涯学習課、アーチル、家庭健康課の方々に来ていただき、活動報告会を行った。自分たちの活動を振り返り、評価していただいたことが子どもたちの自信や達成感にも繋がった。児童健全育成及び地域交流推進事業の一つとして、例年8月には地域の方から地域の歴史を聞いたり、福祉施設の七夕飾りを見学するなどの地域交流を行っている。今後も継続し、地域を愛する心を育てていきたい。学コミかっこ和太鼓隊については、11月の全国児童館みやぎ大会開会式の演奏を目標に活動を行った。演奏も多くのの方々から評価していただき、子どもたちはこれまで以上に自信と充実感も持つことができ、学校や地域との結びつきもさらに強めることができた。子育て家庭支援事業としては、乳幼児親子がコロナ禍でも孤立せず安心して子育てのできる居場所の一つとなるように、可能な時期に月2回のにこちゃんルームの活動を再開した。参加者のアンケートからも、遊びや創作活動、情報交換等を通して子育ての不安を軽減することができ、育児を互いに学ぶ交流の場になったとの意見が多く、成果を実感している。今後も児童館運営の4つの柱を念頭に、学校教育、家庭教育、社会教育が重なり合って、子どもたちの笑顔を未来へ繋げていけるように児童館運営に努めていきます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、月に2回に「にこちゃんルーム」を開催して、様々な遊びや保護者が情報交換や交流できる場を提供し、地域の親子が安心して子育てできる支援を行っている。</p> <p>児童健全育成事業及び地域交流推進事業においては、東中田地区小中学校との連携事業、学びのコミュニティ事業の「かっこ和太鼓隊」は10年以上継続して行われている。令和3年度は全国児童館宮城大会の開会式で演奏を行うなど、様々な場で披露し子ども達が交流を図りながら自信や達成感を得られる体験となっている。放課後子ども教室と連携してドッチビーやハロウィン創作、活動報告会を行った。また、近隣の老人施設の七夕見学を行ったり地域の方を講師として地域の歴史を聞くなどコロナ禍でもできる工夫をしながら地域交流を継続しており、児童館事業の認知向上に積極的に取り組んでいる。また、乳幼児期から関係機関と連携を図り、子育てや子どもの発達に悩みを持つ保護者支援や子どもが育つより良い環境作りも積極的に行っており、評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、「チャレンジひろば」「スポーツひろば」「スタディひろば」では、体力作りや創作活動、読書や読み聞かせなど多様な活動を取り入れ、遊びへの意欲を引き出しながら満足感を得られる体験となるよう支援している。年間を通してできるようになったことや一人一人の内面的な成長を記録証や賞状に記載して渡す取り組みを行っており、子ども達がお互いを認め合う場や自己肯定感を育む機会となっている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課